

九州協建コン

# 女性技術者が交流

## 働き方、育児等で情報共有

（一社）建設コンサル  
タンス協会九州支部女性  
技術者委員会は27日、福  
岡市のオリエンタルホテ  
ル福岡博多ステーション  
で第6回女性技術者交流  
会を開催し写真した。

交流会は、男女ともに  
働きやすい環境づくり  
や女性技術者が活躍す  
ための課題解決などを目  
的として、毎年実施して  
いるもの。第4回、第5  
回はWEBでの開催と

だったが、今回は会場と  
WEBを併用して実施。  
前回に引き続き男性も参  
加した。

冒頭、同委員会の笠瀬

明日香委員長は「自分に  
とって完璧なロールモデ  
ルになるような人はなか  
なか見つからないが、仕  
事への向き合い方など一



交流会は2  
部構成で、第  
1部では▽岩  
根陽子氏（第

一復建（株）▽安永信一郎  
氏（株）国土技術コンサル  
タンス）▽田中菜月氏  
（西日本技術開発（株））▽  
重龍樹氏（株）東京建設コ  
ンサルタント九州支社）  
▽福岡優美氏（応用地質  
（株）九州事務所）▽三宅温  
氏（J R九州コンサルタ  
ツ（株））の6人がライト  
ニングトークを行った。

岩根氏は、自身の経験  
や管理職としての業務内  
容を紹介した。また安永  
氏は男性の代表取締役と  
して、女性の部下への接  
し方や男女の違いに起因  
するコミュニケーション  
の難しさなどを紹介。登  
壇者それぞれの目線で、  
女性が建設業で働く上で  
の壁ややりがいについて  
話した。

第2部は会場の参加者  
のみでワールドカフェ形  
式で意見を交わした。職  
場、制度、理想像、現場、  
やりがい、育児、平日・  
休日の過ごし方の7項目  
ごとにテーブルを用意  
し、テーマに沿って情報  
を共有。「子どもの面倒  
を見ることは親にしかで  
きないので、ある程度割  
り切りが必要」「副業を  
している人もいて、多様  
な働き方があると分かっ  
た」と話すなど、活発な  
意見交換が行われた。